



凡例

地形種	形態・成因の特徴	主要構成物質	
斜面	急斜面	勾配30°以上(等高線読みとりによる)の斜面	新生代の砂岩・泥岩
	緩斜面	勾配30°未満(等高線読みとりによる)の斜面	新生代の砂岩・泥岩
	地すべり性斜面	地すべり地形の特徴を持つ斜面	新生代の砂岩・泥岩(所により亀裂多い)
山麓の堆積地形	地すべり堆積域	地すべり地形の下方に位置する舌状の緩斜面	軟岩主体の砂礫
	段丘	魚野川・信濃川・田河川によって形成された段丘面	硬岩主体の砂礫
	崖錐・沖積錐	斜面下部や小沢の出口に位置する比較的緩斜が急な堆積性斜面	軟岩主体の砂礫
	扇状地(段丘化したものを含む)	沢の出口に位置する扇状の緩斜面・崖錐・沖積錐よりも勾配が小さい	軟岩礫と砂・泥・腐植
	浅い開析谷	段丘面や扇状地を開析する比高2-3m未満の谷地形	軟岩主体の砂礫
低地・河川沿い	深い開析谷	段丘面・扇状地・斜面を開析する比高2-3m以上で谷壁が明瞭な谷地形	軟岩主体の砂礫
	後背低地	魚野川と信濃川沿いの沖積面のうち旧河道を除いたもの	軟岩主体の砂礫
	旧河道	沖積面を速く開析する本流ないし支流性の谷地形	下部に砂礫・上部に砂・泥
人工地形	堤外地	堤防よりも現河道寄りの低地	硬岩主体の砂礫
	盛土地・埋土地		多様
変形地	切土地		主として新生代の砂岩・泥岩
	地すべり		
変動地形	活断層	活断層がセットになった斜面変状地形	
	活褶曲	段丘面を変位させる断層崖	
	活褶曲	段丘面を褶曲させる変動地形	
	活褶曲	段丘面を傾動(撓曲)させる変動地形	

地形境界

- 明瞭な境界
- 不明瞭な境界
- 位置が不確かな境界

傾斜変換線が1万分の1地形図に表現できる程度の明瞭な地形境界
傾斜変換線が1万分の1地形図に表現できない地形境界
米軍空軍写真には示されていても現在の地形図上では位置を明確に示しきれない地形境界

0 100 500 1000m

1 : 10,000